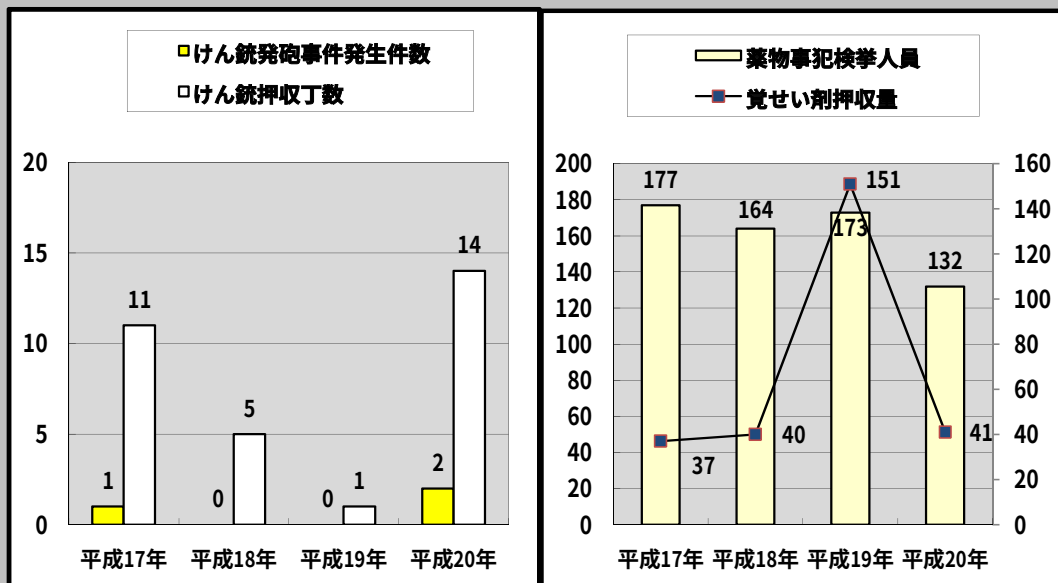


業 務 名

銃器・薬物犯罪対策の推進

○業務に係る統計

項 目	統 計 の 推 移				
けん銃発砲事件発生件数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	1	0	0	2	件
けん銃押収丁数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	11	5	1	14	丁
薬物事犯検挙人員	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	177	164	173	132	人
覚せい剤押収量	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	単位
	37	40	151	41	g



○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成20年度事業費 (千円)	平成21年度事業費 (千円)
1	銃器総合対策強化費	1,624	1,460
2	薬物事犯対策費	95	79
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		1,719	1,539

○平成20年の取組み

●平成18年以降、県内で銃器発砲事件は発生していなかったが、平成20年中には、2件発生し、1名が負傷するなど、県民に不安を与えている状況にあることから、これを解消するため、

- ・ 暴力団関係者等が隠匿するけん銃の摘発
- ・ 税関、海上保安庁等関係機関と連携した密輸対策
- ・ 県民の理解や協力を確保するための広報活動

等の銃器犯罪対策を推進することにより、けん銃事犯で5件（前年対比＋4件）、4人（前年対比＋3人）を検挙し、けん銃14丁（前年対比＋13丁）等を押収した。

●薬物犯罪組織の壊滅及び第三次覚せい剤乱用期の早期終息を目指し、

- ・ 薬物密売グループ、末端乱用者の検挙
- ・ 税関、海上保安庁等関係機関と連携した密輸対策
- ・ 薬物乱用防止啓発活動の普及を目指した広報活動

等の薬物犯罪対策を推進し、薬物事犯で132人（前年対比－41人）を検挙するとともに、覚せい剤約41g（前年対比－110g）等を押収した。

○課題と平成21年の取組み

●薬物・銃器犯罪は、組織的に敢行され、犯行の手段・方法も巧妙化するだけでなく、その組織実態を隠ぺいする動きを強めていることから、犯行組織に係る情報を収集分析し、その実態を解明する。

●薬物・銃器犯罪の収益は、組織の維持拡大や新たな犯罪行為に利用されることから、犯罪収益を没収・追徴するなど、犯罪収益対策を推進する。

●引き続き、関係機関と連携し、

- ・ 薬物密売グループ、末端乱用者の検挙
- ・ 税関、海上保安庁と連携した密輸対策
- ・ 薬物乱用防止啓発活動の普及を目指した広報活動

などを推進する。